

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
理科 化学基礎	2	1年 情報ビジネス科 システム工学科	必履修	新編 化学基礎 (東京書籍)	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物質の構造・反応などについて理解し、化学というものが日常生活に大きく関わっていることを知り、物質の変化への関心を高める。 ・化学の基盤となる原子や原理・法則を日常生活で使われている物を例に挙げて物質の性質や反応について理解する。 ・様々な物質の反応を実験を通して理解し、物質とその変化を微視的に捉える見方や考え方を身につける。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 <ul style="list-style-type: none"> ・物質のさまざまな反応・法則を理解したうえで実験を行うことができる。 ・観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけている。 ・化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけている。 「思考・判断・表現」 <ul style="list-style-type: none"> ・化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 <ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に参加し、授業に関しての発言や質問ができる。 ・授業プリントやノートを書けている。 ・身の回りの化学に関する現象に関心をもち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけている。
評価の方法	「知識・技能」 授業プリントの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。
	「思考・判断・表現」 授業プリントの内容や定期考査で判断、評価する。
	「主体的に学習に取り組む態度」 授業への取り組みや授業プリントの内容で判断、評価する。

学期	学習計画および内容
1 学期	第Ⅰ章 物質の構成 ・第1節 物質とその構成要素 自然界を構成する物質、物質を構成する基本的な粒子についての理解を深める。 中間考査
	第Ⅰ章 物質の構成 ・第2節 物質と化学結合 粒子どうしの結びつき方について学習する。 期末考査
2 学期	第Ⅱ章 物質の変化 ・第1節 物質と化学反応式 粒子の量的な扱い方について学習する。 中間考査
	第Ⅱ章 物質の変化 ・第2節 酸と塩基とその反応 酸性や塩基性を示す物質の反応、量的関係について学習する。 期末考査
3 学期	第Ⅱ章 物質の変化 ・第3節 酸化還元反応 電子のやりとりを伴う反応について学習する。 学年末考査

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	
---------------------------	--